山岳遭難発生状況 (令和7年1月1日~令和7年10月26日) 地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況(暫定値) (令和6年数値は1月1日からの同期間数値)

				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- · - · ·					
×			分	発生件数	死	者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令	和	7	年	347		47	5	167	162	381
令	和	6	年	303		46	3	137	144	330
前	年后	〕斯	比	44		1	2	30	18	51

2 山域別発生状況

				4.1 Alek 1.1 -1-		<i>i</i>	<u> </u>	4	
	区 分	件	数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
	槍穂高		68	19.6%	10	0	34	30	74
北ア	後立山		87	25. 1%	8	1	38	56	103
	その他		56	16.1%	1	0	36	25	62
	計		211	60.8%	19	1	108	111	239
中5	央アルプス		24	6.9%	6	1	10	9	26
南	アルプス		11	3.2%	0	2	8	1	11
八	ヶ岳連峰		34	9.8%	4	0	19	12	35
その	その他の山岳		67	19.3%	18	1	22	29	70
	計		347		47	5	167	162	381

3 態様別発生状況

- 101 MW 3 2 0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
X	分	件	数	件数比率	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
転・	滑落		93	26.8%	28	0	67	0	95	
転	倒		87	25.1%	1	0	86	0	87	
病	気		27	7.8%	7	0	0	20	27	
道:	迷い		32	9.2%	0	0	0	49	49	
落	石		7	2.0%	0	0	7	0	7	
雪	崩		2	0.6%	1	0	1	1	3	
落	哥		0	0.0%	0	0	0	0	0	
疲労	凍死傷		57	16.4%	2	0	0	59	61	
不明	月・他		42	12.1%	8	5	6	33	52	
	計		347	_	47	5	167	162	381	

4 男女別・年齢別比率

	男		男性			(人)	女		性		(人)	身	月女計	
区分	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	7	7		0	0	1	0	1		8	
20代	1	0	4	17	22	45	0	0	1	5	6	18	28	63
30代	4	1	4	7	16	17.0%	0	0	3	8	11	15.4%	27	16.5%
40代	5	1	13	14	33	85	1	0	16	3	20	46	53	131
50代	7	0	21	24	52	32.2%	1	0	19	6	26	39.3%	78	34.4%
60代	9	2	31	26	68	134	0	0	22	8	30	53	98	187
70以上	19	1	18	28	66	50.8%	0	0	14	9	23	45.3%	89	49.1%
計	45	5	91	123	264		2	0	76	39	117		381	
比 率	69.3%									30.	7%			

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

5 ヘリ出動件数

•	1124					
	警察へリ	139 件	消防防災ヘリ	76 件	民間へリ	

先週の発生(10/20~10/26)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
10月23日	伊那市富県地籍の 山林内	男	90	死亡	発病	2人パーティできのこ採りに入山し、発病
10月24日	ハヶ岳連峰 天狗岳	男	74	死亡	発病	4人パーティで黒百合から天狗岳に向けて登山中、発病
10月24日	北アルプス 唐松岳	男	32	負傷	転倒	2人パーティで唐松岳から八方尾根を下山中、転倒、負傷
				_		

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、3件の山岳遭難が発生し、うち2件は死亡遭難で2名の方が亡くなっています。 きのこ採りも含め、登山に向けてのトレーニングや体調管理に努め、入山前や行動中に体調に不安が ある場合は、登山の中止を検討してください。

II月に入ると長野県内の主要な山域では、多くの山小屋の営業期間が終了し閉鎖になります。【注意:》通年営業している山小屋もあります。】

標高の高い山域では、初冠雪や初氷など冬の便りが届き、高山帯の季節が秋から冬になりつつあります。例年の事例として、山小屋の営業期間を調べずに入山し、頼みの綱として「あそこまで行けば山小屋がある。」と思って限界ギリギリで登山するも、現地で山小屋の営業が終了していることを知り落胆される方がいます。(ビバーク装備が無く救助要請される方も・・・)

この時期は、冬期に向け、

『ハシゴや橋の撤去』や『山小屋の営業期間終了』

があるので、入山前に必ず情報収集を行って下さい。登山口に注意喚起の張り紙がされている場合があるので、見落とさずに確認しましょう。

「あれ?橋が無い…。」「山小屋やってないの…。」とならないようにしてください。